

おもと会 地域リハビリテーション支援センター

広報誌

5月 2009

平成二十一年度 活動計画

平成十三年から地域リハビリ支援センターの活動を続けて、今年度は九年目になります。平成二十一年度も地域のみならず健康でいきいきとした暮らしを続けられるようにリハビリテーションの立場から支援していきたいと思えます。

(平成十三年度) 沖縄県から委託。平成十八年度(沖縄県事業廃止に伴い、おもと会独自の事業として活動)

【趣旨】

病院のリハビリテーションはある程度充実してきましたが、退院した後に利用できるリハビリ体制は不十分だと言わざるを得ません。

『おもと会地域リハビリ支援センター』は、リハビリ体制の整備と、医療・保健・福祉の関係者に対する支援を行うことで、地域住民が健康でいきいきと暮らしている町をつくるお手伝いをします。

【1 リハビリに関する相談】

おもと会総合案内センターでは医療・保健・福祉のあらゆるご相談を365日お受けしています。リハビリに関するご相談もお気軽にお寄せください。

(フリーダイヤル 0120・3333・4322)

【2 講師派遣の協力】

離島の医療・保健・福祉サービスは十分でないことが多いです。高齢者や障がい者が住み慣れた土地に住み続けることができるように、依頼を受けた離島に理学療法士や作業療法士、言語聴覚士を派遣しています。

渡嘉敷村のデイサービス(毎月一回、理学療法士)
渡嘉敷村の介護予防事業(毎月一回、理学療法士)
久米島町の保健師との同行訪問(毎月三回、理学療法士、言語聴覚士)

平成二十一年度は二十年度に引き続き、右記の協力を行います。その他にも、地域ケアや介護予防事業などの講師派遣のご相談をお受けします。ご連絡ください。



渡嘉敷村デイサービスでの運動指導



久米島町の保健師と同行訪問

【3 講習会の開催】

地域ケアに携わる職員の資質向上に役立つリハビリ関連の講習会を開催します。

- 6月7日(日)「高齢者の食と栄養」講師・今井千春(大浜第一病院 医師)、土田森子(ぎのわんおもと園 管理栄養士)
- 7月12日(日)「失語症コミュニケーション講座」講師・照屋智美(大浜第一病院 言語聴覚士)・他
- 9月「デイサービスにおける運動指導」(予定)
- 10月「認知症予防プログラム」(予定)

六月・七月の講習会の案内は既に発送しています。まだお手元に届いていない方はご連絡ください。



失語症コミュニケーション講座

と き：平成21年1月24日(土)

『高次脳機能障害のリハビリテーション～入門編～』

ところ：おもととよみの杜

講師：種村 留美 先生(神戸大学大学院教授 作業療法士)

平成二十年度最後の講習会として『高次脳機能障害のリハビリテーション～入門編～』を開催しました。



種村留美先生

種村先生は「高次脳機能障害者の社会生活の自立支援」について実践と研究を積極的に行っており、沖縄県の作業療法士にも多くのファンがいます。

「高次脳機能障害」は麻痺などの目に見える障害に比べて、専門職にとっても理解が難しい障害です。今回の講習会には300人以上の受講申込みがあり、定員を100人から150人に増やして開催しました。当日は、病院・老健施設・在宅サービス事業所に勤務するさまざまな職種の方が熱心に受講し、「高次脳機能障害」への関心の高さを改めて感じました。

「高次脳機能障害」は総称であり、「失認症」「失行症」などに分類され、

さらに「失認」など臨床症状の特徴から細かい分類がなされます。種村先生は高次脳機能障害の分類と臨床症状の解説を分かりやすく教えてくれました。高次脳機能障害の患者さんの様子をビデオで紹介され、日常生活場面でよく見る高次脳機能障害の症状と、それに対する援助者の関わり方を具体的に説明してくれました。

高次脳機能障害を持つ方への支援で最も大切なのは「できることを見つけること」です。できないことばかりに注目するのではなく、できることを見つけ、それを日常生活の中で実用化させる工夫を私たちが行うことで、高次脳機能障害を持つ方の生活が広がっていきます。そのため着眼点や具体的な工夫について、丁寧に説明していただき、受講者は熱心にメモをとっていました。

「実際のケースを通して、より具体的な講習会にした」との種村先生の意向で、大浜第一病院の作業療法士・新里光さんが現在担当している患者さんをビデオで



着替えのときの症状と指導のポイント

紹介し、種村先生にアドバイスをもらいました。着替えができない理由と指導の仕方など、日常生活における高次脳機能障害の影響と適切な指導・練習について実践的なア

ドバイスをいただきました。また、脳のCT画像から推測できる高次脳機能障害の症状を挙げ、今後の評価や訓練に役立つアドバイスをもらえました。

受講者からは「とても分かりやすかった」「今回の入門編に続けて『応用編』も開催してほしい」との声をたくさんいただきました。ぜひ、続編となる講習会を企画したいと思います。

受講者のみなさん、お疲れ様でした。種村先生、ありがとうございました！

おもと会地域リハビリ支援センターのご案内

1. リハビリに関する相談 0120-333-432
おもと会総合案内センター
2. 講師派遣の協力
3. 講習会の開催
4. 当事者団体の支援
5. 地域リハビリ連携ネットワークの構築

みなさまのご意見・ご要望をお聞かせください。
詳しくはホームページまで。

おもと会地域リハ

検索

クリック